

はじめに

私は2018年から2020年にかけてアメリカにMBA留学をしました。そのときに感じたのは「留学中に何を感じて何を考え、MBA取得後、どのようにキャリアや人生に影響を与えたのか?」についての情報が世の中に少なすぎる」ということです。

海外MBAに合格するための情報は世の中にたくさんあります。MBA留学予備校もありますし、受験に必要なTOEFL・GMATの攻略本、エッセイについての参考書もあります。しかし、MBAを志した人がMBA留学前と留学後でどのように考え方が変わり、その後の人生にどのような影響を与えたかについては知る機会がほとんどありません。

そもそもMBAを志す人には目的があるはずですが、将来は経営に携わりたい、職種を変えてキャリアチェンジしたい、起業したい、などです。ではその目的を達成するために、MBA留学はどのように役に立ったのでしょうか? MBAでどんな出会いがあり、何を学び、留学後はどのようなキャリアを送っているのでしょうか? これらについての情報は圧倒的に不足しています。

この本は、そんな「MBA留学には興味があるけれど、実際にどのようなことが学べて、MBAに行く前と行ったあとで何が変わるのだろうか？」と疑問に思っている方に向けて書いたものです。また、「そもそもMBAって何？」という方に向けても、MBA留学をより身近に感じてもらえるように、楽しみながら読んでいただきたいと思っております。

私はこの本によって、「MBAは最高です、みんな目指しましょう！」と言うつもりはまったくありません。そもそもMBA留学は数多くのキャリアの選択肢の一つにすぎませんし、人によってはMBAがまったく役に立たないこともあるでしょう。そうではなく、本書は私がMBA留学にまつわる「きわめて個人的な体験」を通して感じたこと、心境の変化、ストーリーを発信することで、ある意味MBA留学で得られることの本質を描こうとしたものです。

第1章では、まったく海外に興味のなかった私がどのようにMBA留学に興味を持つようになったのか？を書きました。第2章、3章では、実際にMBA留学中に「考え方や価値観・人生観がどのように変わったのか？」そして「何を学び、どんなことができるようになったのか？」に焦点を当てています。第4章では、MBA留学後に「MBAで学んだことが実際にどのように仕事やキャリア形成に生かされたのか？」について書きました。この点について書いている本は世の中にほとんどないのではと考えて

います。最後に、第5章では「自分のキャリアは自分でコントロールする」ということをテーマに、MBAの学びから自分らしく幸せに生きるための人生観とキャリア意識を「きわめて個人的な視点」で書かせていただきました。

この本はMBAに興味がある、もしくは近い将来MBA受験を考えている方に向けて書いたものであり、同時に、半分は私自身に向けて書いたものです。常に変化しつづける世の中で、自分らしく、しなやかに生きていくためには「周りの人や環境に左右されない信念」が必要だと思っています。そんな信念の形成に大きな影響を与えてくれたのが、私にとつてはMBA留学でした。

海外MBAについてすでによくご存じの方も、まだ知らない方も、興味のある章から読みはじめていただいて結構です。この本を読んでくださった方が、少しでもご自分のキャリアや価値観・人生観について改めて考えるきっかけになれば幸いです。